

科目名 (科目番号)	臨床医学総論 (呼吸器学) (112261)	教員名 篠田 俊雄	学科等	医療技術	必修	履修年次	2
			曜日・時限等	時間割表参照		単位数	2
			オフィスアワー		木3	B209研究室	
授業概要	肺循環と換気障害および血液ガス分析結果の異常値から呼吸器系疾患の病因、病態、症候、診断、治療などについて学ぶ。すなわち呼吸不全、感染性呼吸器疾患（かぜ症候群・細菌性肺炎・肺結核など）および生理学的には閉塞性換気障害を主徴とする気道閉塞性肺疾患（慢性閉塞性肺疾患・気管支喘息など）や拘束性換気障害（間質性肺疾患など）の区別などについて検査データによる判読法などを学ぶと共に、その病態について学ぶ。さらに肺塞栓、肺高血圧や腫瘍性肺疾患などについても学ぶ。						
準備学習	毎回の授業について少なくとも1時間程度の予習・復習をすること						
授業計画	回	授業項目	到達目標・学習内容				
	1	肺の解剖と機能	肺の解剖と機能を理解する。				
	2	肺胞・肺毛細管の機能	多くの呼吸器疾患の機能異常が肺胞と肺毛細管レベルのガス交換能で生ずることを理解する。				
	3	呼吸器疾患と各種検査法	呼吸器疾患の診断には各種X線装置、MRI装置、血液ガス分析装置、スパイロメータなどの検査機器が使用されることを理解する。				
	4	呼吸不全 I	急性呼吸促進症候群の病因、病態、症候、診断、治療を理解する。				
	5	呼吸不全 II	慢性呼吸不全の病因、病態、症候、診断、治療を理解する。				
	6	血液ガス分析	血液ガス分析の結果から呼吸不全の病態とその治療を理解する。				
	7	血液ガス分析と酸塩基平衡	血液ガス分析値より呼吸器疾患と酸塩基平衡の関係について理解する。				
	8	感染性呼吸器疾患 I	感染性呼吸器疾患の種類と病態について理解する。				
	9	感染性呼吸器疾患 II	かぜ症候群、細菌性肺炎、肺結核、日和見感染症などの診断と治療の概要について理解する。				
	10	気道閉塞性肺疾患	慢性閉塞性肺疾患、気管支喘息などの気道閉塞性肺疾患の病態とその治療を理解する。				
	11	拘束性換気障害	間質性肺疾患、肺線維症などの拘束性換気障害の病態とその治療を理解する。				
	12	肺呼吸疾患と検査 I	スパイロメトリーによる閉塞性・拘束性換気障害の分類について理解する。				
	13	肺呼吸疾患と検査 II	肺呼吸器疾患におけるその他の検査法（静肺コンプライアンス、肺拡散能力検査）などの概要について理解する。				
	14	その他の肺疾患	肺塞栓症、肺高血圧症、肺癌などの病態とその治療を理解する。				
	15	まとめ	各種呼吸器疾患の病態とその検査法についてまとめる。				
成績評価の方法・基準	期末試験(100%)						
教科書	臨床工学技士標準テキスト		小野哲章		金原出版		
参考図書	新体系看護学全書 成人看護学[3]循環器		工藤翔二、青木きよ子		メヂカルフレンド社		
教員からのメッセージ	教科書で予習し、配布資料のポイントを中心に復習することにより学習効率が向上します。						